

情報化委員会通信

2016年度第2号(通巻19号)
図書館部会情報化委員会
2016年11月25日発行

(図書館部会のHP <http://ws.higo.ed.jp/kmtcts/>)

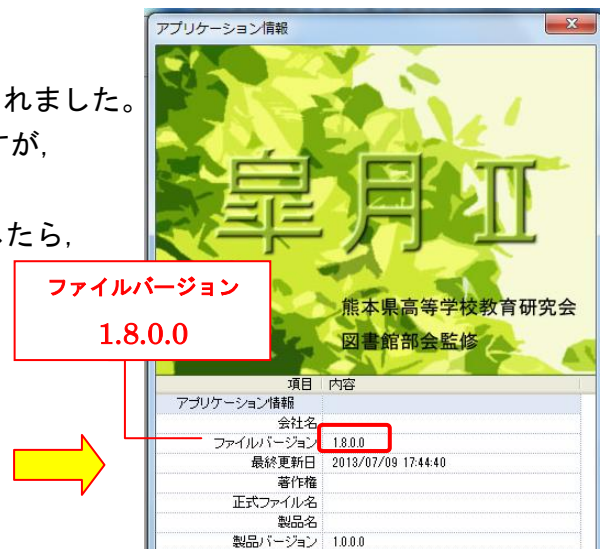
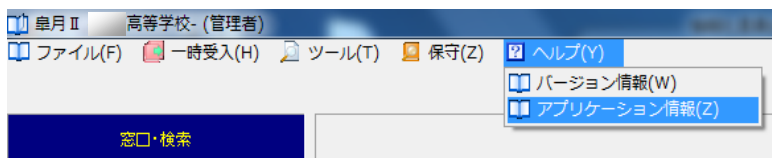
総合目録について

平成26年度～27年度受入分のデータ提出ありがとうございました。
利用を「希望する」とされた学校は空のDVDを一枚、各地区の情報化委員へご提出ください。研究・研修大会にてDVDを提出された学校につきましては、情報化委員を通じて順次お届けいたします。

確認1: 「皐月II」バージョンアップ

2013年にバージョンアップ版の皐月II(1.8.ver)が導入されました。各学校で順次、バージョンアップが行われたことと思いますが、今一度、バージョンの確認を各自で行ってください。万が一、以前のバージョン(Ver.1.7.0.0)の学校がありましたら、お近くの情報化委員までお知らせください。

確認方法 【ヘルプ】－【アプリケーション情報】を開く



確認2: 「入力規則マニュアル」

集められた総合目録データの中には「入力規則マニュアル」が守られていないデータが見受けられます。再度マニュアルを確認されて、入力をお願いします。

特に間違いやすい入力ミスは次の3つ!

- ① 助詞のヨミ入力の間違い (助詞「ハ」「ヘ」「ヲ」をそのまま入力)
- ② 記号がそのまま(特に書名)入力されている
- ③ 分かち書きされていない

- ① 助詞「ハ」「ヘ」「ヲ」のヨミは、そのまま入力せずに、それぞれヨミには「ワ」「エ」「オ」と入力します。
→そのまま入力すると、読み検索の場合に正しく検索されない場合があります。
例: こんにちは→コンニチワ いずこへ→イズコ/エ 字を書く→ジ/オ/カク
(入力規則マニュアル付則 8p)
- ② 特に書名にある、カッコ記号(「 」, <>)や中黒(・), スペースなどは要注意です。
(入力規則マニュアル付則4-7p)
- ③ タイトルはスラッシュ(/)で分かちます。責任表示の個人については姓と名の間をカンマ(,)で区切り、団体については単語をスラッシュ(/)で区切ります。
例【個人】: 著者名 島田/雄次郎 || 著 例【団体】: 著者名 NHK || 編
著者名標目 シマダ, ユウジロウ 著者名標目 ニッポン/ホウソウ/キョウカイ

阜月IIマメ知識 ～入力ミスをチェックし、防ごう！編～

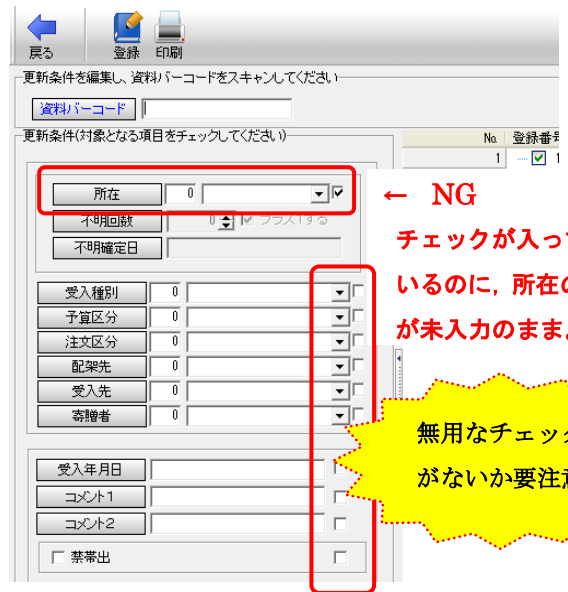


「資料一括修正」は 修正項目だけチェックマーク！

配架場所や分類番号をまとめて変更する時や、除籍（不明処理）する時など、便利に使えるのが「資料一括修正」の機能です。

ただし、使うときは細心の注意を！変更したい項目以外のチェックボックス（□）にチェックがついていないかの確認をお忘れなく！

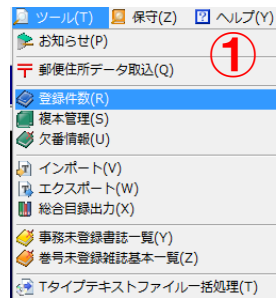
例えば、一括修正で所在を何も選択せずに右側のチェックだけを付けて本の修正を行うと、所在の登録されていない本ができてしまいます。所在が登録されていない本は、貸出や一括修正等ができなくなります。また、検索した際に印刷ができません。



所在「なし」になっている本がないか確認してみましょう

- ① 【ツール】－【登録件数】を開き「件数を調べます」をクリック。
- ② 事務事項情報の合計（一番上の水色の部分）とその下の資料状態の合計（[選書中]から[製本中]までの白色の部分）が一致しない場合は、その差分が所在なしデータの件数です。

※所在が登録されていない図書データの登録番号を確認する方法はサポート報告書 No.155 をご覧ください。



登録済み件数の確認

集計名称	件数
図書-事務事項情報	32,096
[選書中]	76
[発注中]	43
[入手不可]	0
[収書中]	0
図記架済	31,918
[除籍]	558
[不明]	101
[製本中]	0

一致

欠番情報を確認しよう！

方法① 登録毎（受入のタイミング毎）での【図書台帳】を使つてのチェックがおすすめです。指定日－【受入年月日】を入力し【検索】すると、登録番号の欄で欠番がないかのチェックができます。また各項目（受入年月日や価格、請求記号、購入金額等）の入力間違いも発見しやすいです！画面の右下には「購入金額の合計」が表示されるので、請求書との照合も簡単です。

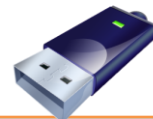
方法② 【ツール】－【欠番情報】を開き、調べたい範囲を入力し【実行】すると欠番の件数が出てきます。「欠番情報を保存」すると、どの登録番号が未登録なのかを確認できます。

● 情報化委員会通信 & サポート報告書を保管しましょう！

サポート報告書は阜月IIの運用における注意点が満載。情報化委員会通信と共に、ぜひとも保存しておきましょう。注意点を覚えておくと、トラブルを未然に防ぐことができます。

トラブルがない方も、サポート報告書を確認しながら、普段は使用していない機能も一度確認してみてください。知らず知らずのうちに起きてしまっている、おかしなデータや間違った運用の発見につながります！

● 定期的に外部メディアへデータのバックアップをしましょう！



阜月IIで気になることがあれば、お近くの情報化委員までお気軽にお尋ねください。